国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和７年２月５日
小樽開発建設部

今回で１０回目！

小学生と協働で滑り止め砂まきの協力を呼びかけ！

～観光客等のツルツル路面での歩行を滑り止め用砂で支援～

小樽開発建設部では、小樽市立花園小学校と協働し、地域住民や観光客の冬道歩行を支援するため、子供たちが自ら製作した滑り止め用砂入りペットボトルを使い砂まきの呼びかけを行いますので、下記のとおりお知らせします。

この取組は平成２５年度から継続して実施しており、今回で１０回目となります（※１）。

昨年１０月に子供たちが自ら砂詰めを行って製作したペットボトルを使用し、国道の通学路の滑りやすい場所で砂まき体験を行います。その後、観光エリアへ移動し、観光客等にペットボトルを用いた、砂まきの協力を呼びかけます。

なお、ペットボトルには、子供たち一人ひとりが想いを込めた個性豊かなオリジナルの塗り絵ラベルを貼り付けています。また、様々な国からの観光客に対応するため、ラベルには多言語（英語、韓国語、中国語）による説明を加えています。

記

（１）実施日時　令和７年２月１２日（水）９：４５～１２：１５

（２）実施場所　①小樽市内国道５号沿い（花園十字街周辺）
②小樽市内観光エリア（浅草橋周辺、オルゴール堂周辺）（別紙１参照）

（３）実施内容　小樽市立花園小学校５年生児童３５名が２班に分かれて活動（別紙１参照）
①通学路での砂まき体験
１班　９：４５～　９：５５（花園十字街周辺）
２班　１１：１５～１１：２５（花園十字街周辺）
②観光エリアでの砂まきの協力の呼びかけ
１班　１０：０５～１０：４０（浅草橋周辺）
２班　１１：３５～１２：１０（オルゴール堂周辺）

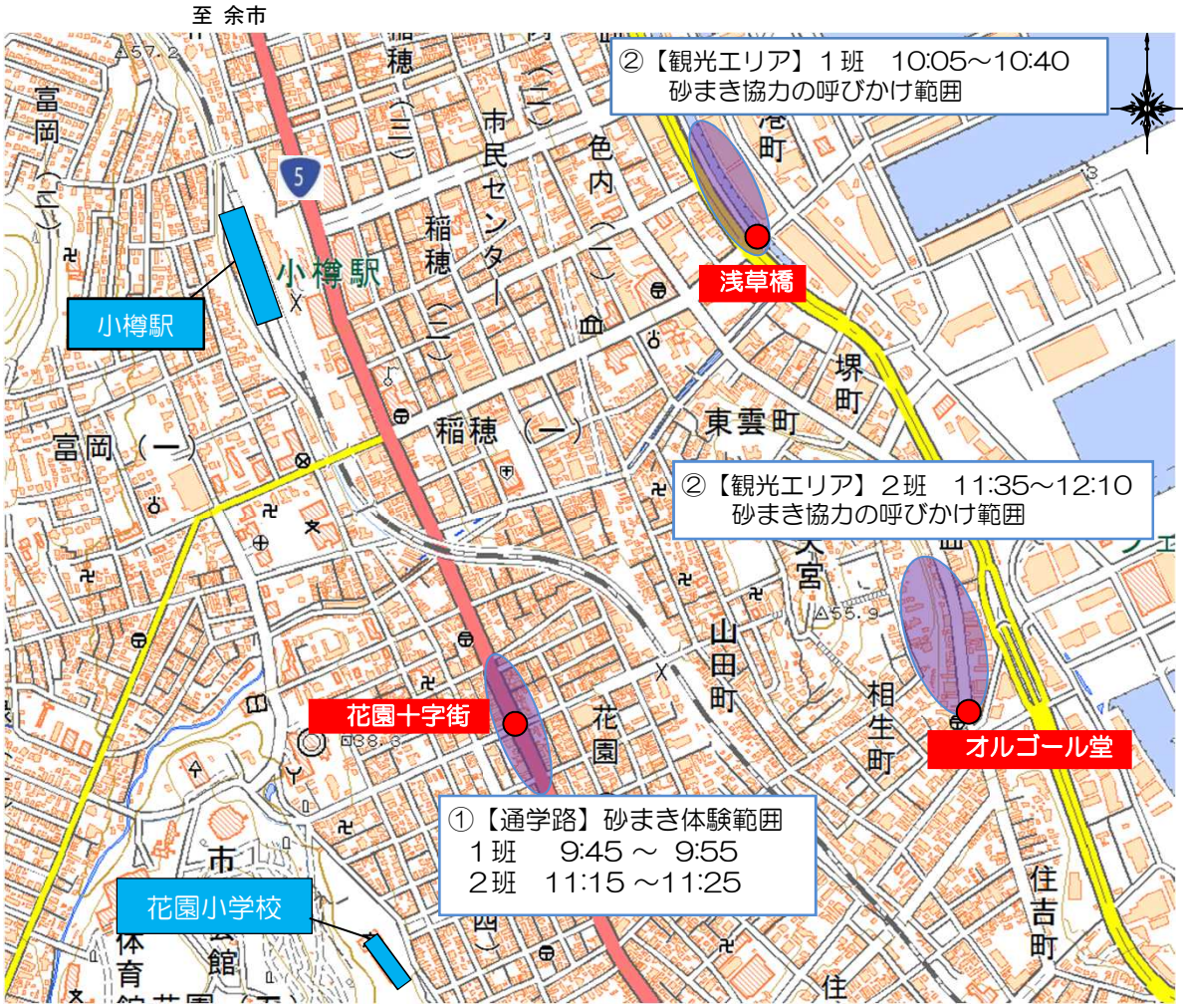
※１　令和２、３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
※２　悪天候等により中止となる可能性があります。
※３　砂まき体験及び砂まき協力の呼びかけ場所には駐車スペースはありません。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】　国土交通省　北海道開発局　小樽開発建設部
道路計画課　課長　坂ノ上　有紀（電話　0134-23-5229）
道路計画課　道路調査官　山　﨑　勲（電話　0134-23-5229）
（小樽開発建設部ホームページ）https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/

別紙１

＜取組実施場所位置図＞



出典：地理院地図

至 札幌方面

【取組実施場所・時間】

①通学路での砂まき体験

１班　　９：４５～　９：５５（国道５号・花園十字街周辺）
２班　１１：１５～１１：２５（国道５号・花園十字街周辺）

②観光エリアでの砂まき協力の呼びかけ

１班　１０：０５～１０：４０（浅草橋周辺）
２班　１１：３５～１２：１０（オルゴール堂周辺）

別紙2

砂まき体験と観光客との交流の概要

砂詰め作業（10/23作業完了）

▲児童自ら砂を詰めペットボトルを製作
※写真は、令和6年10月23日の様子

▼児童の塗り絵とメッセージ（日本語・英語・韓国語・中国語）を表記した滑り止め用砂入りペットボトルとラベル

事前授業

外国語学習　1/22 実施済

▲外国語の授業状況
※写真は、令和６年度の様子

２／１２ 当日の取組（今回）

①実体験

▲通学路に自ら砂をまき効果を体験

②観光客との交流

▲外国人観光客へ外国語で声をかけ、
自己紹介と転倒防止の呼びかけ

▲観光客に直接砂詰めペットボトルを配布。
砂まきの効果を説明し、砂まきへの協力をお願いする

※写真は、令和5年度の様子